

南薩教育事務所だより

令和4年7月発行

「困難な時に見える癒やし。」

南薩教育事務所長 坂中 裕一

「かごしま未来創造ビジョン」が今年3月に改訂され、南薩地区においても今後の10年を見据えた地区の取組について協議の場がもたれている。人口減少・少子高齢化の波は南薩地区でも顕著であり、若者がこの地に残り、産業を活性化するにはどうすべきか、人口減少の中においても豊かな生活は必要であり、そのためにどのような対策を取るべきか、熱心に議論されている。

大隅に横たわる横尾岳は、私の実家に向かうお決まりの道路からは等脚台形に見える。見る場所によって見え方は様々であろうが、この等脚台形をした横尾岳を見れば、「帰ってきた！」と安堵を感じる。これまでの教職人生で困難な時期が3回ほどあったが、その度に癒やしを求めたのが私の生まれた地であった。一時の逃げ場を過ごすためだったのであるが、故郷の景色を眺め、空気を吸い、家族の顔を見ながら力を貰うのである。

生を受けてから自分のアイデンティティーを確立する時期までに、地域で行われる親子オリエンテーリング大会、夏のソフトボール大会、十五夜、クリスマス会などとおして、当時の保護者たちや地域の方々から愛情をもって大切に育てられた。だからこそ、最近、リタイアの時期が近づくとつれ、生まれ育った地に恩返しをしたいと考えている。

学校教育は、学習指導要領により、どの地に生まれた子どもたちにも等しい教育が行われるよう保障されている。地域が抱えた課題はそれぞれである。この課題に向き合うために、もっと大局的な見方で子どもたちを育てていく必要性を感じている。それぞれの地域が注ぐ子どもたちへの愛情が、この南薩地区の活性化に繋がるのではと考える今日この頃である。

～交通事故0・交通違反0をめざして～

今年度、南薩地区管内の交通違反が、依然として発生しています。

車を運転する一人一人が、運転における危険要因を再認識し、注意力不足などによる交通事故、交通違反防止に努めましょう。

(1) 「面倒」という意識

安全確認の「怠り・省略」につながります。

(2) 「油断」の気持ち

通り慣れた道や前者に追従する漫然運転は、安全確認を怠る原因となります。

(3) 「急ぎ」の心理

時間に余裕をもって出発しないと、急ぐあまり安全確認が疎かになります。

(4) 「注意」の偏り

運転以外のことを考えると、注意力が偏り安全確認が疎かになります。

「転入職員・新任職員の紹介」

○ 総務課

初めての南薩地区の勤務になります。本地区の教育行政の発展に貢献できるよう頑張ります。(吉住)



小学校の管理担当として赴任しました。初めての業務になりますが、1日でも早く業務に慣れるように頑張ります。

(山崎)

4月に新規採用として赴任しました。初めてのことばかりではありますが、1つ1つ一生懸命頑張ります。(江畑)



○ 指導課



歴史ある、そして自然豊かなこの南薩地区で、貢献できるように頑張ります。(山之上)

南薩の社会教育振興に貢献できるように、微力ではありますが頑張ります。(片平)



組織的に協働して行う生徒指導

1 いじめ問題への対応

- (1) いじめの認知
「いじめ防止対策推進法」第二条の「いじめの定義」に基づいて認知する。
- (2) いじめ問題への対応
学校いじめ防止基本方針に基づいて、迅速かつ適切に対応する。
- (3) いじめを生まない学級づくり
「仲間づくり (H27, 28)」を活用した研修を行う。

2 長期欠席児童生徒への対応

- (1) 要因や背景の把握（専門職との連携）
該当の児童生徒に関係がある学校職員や学校外の専門家等、複数の視点によるアセスメント（見立て）を行う。スクールカウンセラーの専門的知識や、スクールソーシャルワーカーのもつ情報を有効活用する。
- (2) 確実な安否確認
安否確認ができない場合は、市福祉部局や児童相談所への通告、警察への情報提供など、外部機関とも連携する。

子供一人一人の学びを大切に

今年度の南薩地区の学力向上のテーマは、「子供一人一人の学びを成立させ、力を付ける授業づくり」としました。

以下の点を重点とし、取り組んでまいります。

1 確かな学力の定着のために

- ・ 身に付けたい資質・能力を明確にし、授業のゴールから組み立てる授業づくりを目指します。
- ・ 授業の終末の段階で、今日の学びを定着させる取組や、身に付けた力を実感する取組を充実させていきます。
- ・ 「思考力・判断力・表現力」を育む問題に、計画的・継続的に取り組んでいきます。

2 教員の指導力向上のために

- ・ 校内研修を充実させることで、教員の授業力向上に取り組みます。そのために、コアスクール指定校で実践したことを南薩地区に広げる取組を充実させます。



【コアスクールの授業】

社会教育の推進

1 「かごしま地域学校協働活動」の推進

令和2年度より、「かごしま学校応援団」から「かごしま地域学校協働活動」に名称を変え、各地域で取組が進められています。「令和3年度版『参考事例集』」等も参考にいただき、一層充実した取組になることを期待しています。

2 令和4年度版「親子手帳」の活用

「親子手帳」を新小学1年生と小・中学校の全学級担任の先生方に配布しました。家庭教育学級や学級PTA等で活用方法等を話題にいただき、各家庭での積極的な活用につなげてください。



運動への意欲・実践力の育成

1 体育授業実践例の活用

当所では、体育・保健体育の授業改善に役立つ体育授業実践例を作成し、ホームページに掲載しています。上記QRコードから御確認いただき、明日からの授業改善に生かしてください。



【実践例1】バスケットボールを基にした簡易化されたゲーム

【実践例2】ハードル走

【実践例3】走り高跳び

【実践例4】跳び箱運動

2 「体力アップ！チャレンジかごしま」への計画的・継続的な取組

本地区の重点取組は、次の2種目です。

- (1) 「のぼしてコロコロ」(柔軟性)
- (2) 「2人でさっさ」(敏捷性)